

岩槻温水プール（指定管理者：シンコースポーツ株式会社、評価機関：株式会社ブレインファーム）訪問調査日：令和7年11月18日

スポーツ施設 評価結果一覧表

評価項目	指定管理者自己評価結果	評価機関評価結果
I. 総則		
1. 施設の目的に基づいた基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。	B B
2. 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設目的を達成できているか。	B A
3. 従事者の勤務実績・配置状況	管理職を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績、配置状況は適切か。	A A
4. 従事者のマナー	利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接客マナーは適切か。	A C
5. 施設の設置目的を実現するために必要な人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組がなされているか。	B B
II. 施設・設備の維持管理		
1.建物（野球場・サッカー場・テニスコート等の屋外競技施設を含む）・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A A
2.備品の管理	施設の備品が適切に管理されているか。	A A
3.清掃業務、植栽・樹木等の維持管理業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。施設周りの植栽・樹木等が適切に管理され、利用者が快適に過ごせるような良好な景観が保たれているか。	B A
4.警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	A A
5.プール施設の衛生管理業務	プール施設の衛生管理業務が適切に実施され、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	A A
6.浴室衛生管理業務	公衆浴場に関する法令を遵守し、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	
7.施設衛生管理業務	施設の衛生管理や感染症対策を適切に行っているか。	A A
III. 運営業務及びサービスの質の向上		
1.利用実績及び施設の稼働率	評価実施直前の2年間の施設稼働率及び利用実績の推移につき、半期毎（4月から9月、及び10月から3月）の状況を確認する。	A C
2.利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A A
3.適切な利用情報の提供	すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか。	A A
4.サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか。	A A
5.従事者間での情報共有化	従事者間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A B
6.個人情報保護	個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A A
7.事故防止対策への取組	事故防止のための体制の構築・取組を行っているか。	A A
8.事故発生時の対応体制の構築	事故発生時の対応体制が確立されているか。	A A
9.災害発生時の対応体制の構築	災害発生時の対応体制が確立されているか。	A C
10.利用者の意見や苦情を抽出し、解決する体制の構築	利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。利用者の意見や苦情を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A B
11.利用者アンケートの実施	サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A A
12.自主事業の適切な実施	利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。	B B
13.スポーツ教室事業等の適切な実施	利用者のニーズをくみ取り、スポーツ教室事業を実施しているか。	B B
IV. 地域及び地域住民との連携		
1.地域や地域住民との交流・連携の取組	地域や地域住民との交流・連携に関する取組を実施し、地域交流の支援を実施しているか。	B B
V. 収支状況		
1.管理経費（指定管理料）等の執行状況	管理経費（指定管理料）は適正に執行されているか。	B A
2.収支決算状況	予算と決算に大幅な相違がないか、収入・支出がプラスになっているか。	- -
3.利用料金収入実績 →該当施設（施設）のみ評価を実施する	事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。	103.3% 103.3%
4.経費削減の取組	経費削減のための努力を行っているか。	実施 実施

項目	指定管理者自己評価	第三者評価機関特記事項
I. 総則	スタッフの電話対応について、個人情報保護の観点から個人名をお伝えしていませんでした。電話機付近には丁寧な対応を促すメモを設置するなど、ホスピタリティの維持・向上には努めておりますが、今後は名乗るように運用を改めます。	施設の設置目的や基本方針に基づいた管理運営は行われていますが、従事者についての育成や評価について、さらなる取組を期待します。
II. 施設・設備の維持管理	全体的に施設・設備の維持管理において徹底をできているが、施設外の雑草や樹木の処理においてより一層の美化に努めます。	プールの水質検査や毎日の塩素濃度測定についてはしっかり行われております。今後さらに老朽化が進む施設・設備について予防保全の積極的な取組を期待します。
III. 運営業務及びサービスの質の向上	今後も幅広い方々へ情報発信ができるように努めます。運営においては研修を通してスタッフへの情報共有及び指導を行い、利用者様が安心して利用できる施設づくりに努めます。	自主事業については幅広い世代に向けて魅力的な開催がなされ、事業者の経験・ノウハウが活かされています。今後さらなるサービス向上に向けて改善に向けてのプロセスの確立も期待します。
IV. 地域及び地域住民との連携	市内他施設との情報連携に努めており、市内のスポーツ振興に取り組んでおります。今後は近隣の地域住民と連携した事業や交流が生まれるような事業を展開し、近隣住民の方により親しまれる施設づくりに努めて参ります。	市内で指定管理者が管理している類似の別施設との情報交換はされていますが、地域住民、団体との協働に向けての取組を期待します。
V. 収支状況	引き続き経理の処理については適切に管理するよう努めます。	経理処置については適切に実施されています。
VI. その他		

評価結果についての講評

全国で多くの類似施設の管理・運営を行っている事業者が指定管理者であり、十分な経験・ノウハウを持ち特に自主事業の開催や有事の対応についての詳細なマニュアルの整備等については、非常に優れたものとなっています。ただ一方、市の施設として管理していく上で、定期的な会議、研修・訓練等の計画的な実施と記録の作成、改善への取組については不十分などが見られました。今年度が指定管理期間の2年目ということですが、次年度についてはこの評価結果を踏まえた改善を望みます。

指定管理者からの意見

評価の結果、当社の自主事業や衛生管理の取り組みを認めていただいた一方で、事務管理や地域連携、接遇の運用面において課題を確認いたしました。改善すべきところは直ちに改善し、強みである専門性をさらに磨き上げることで、より良い施設づくりに邁進いたします。特に老朽化への予防保全や、地域に開かれたコミュニティ拠点としての機能強化に重点を置き、さいたま市のスポーツ振興に貢献してまいります。